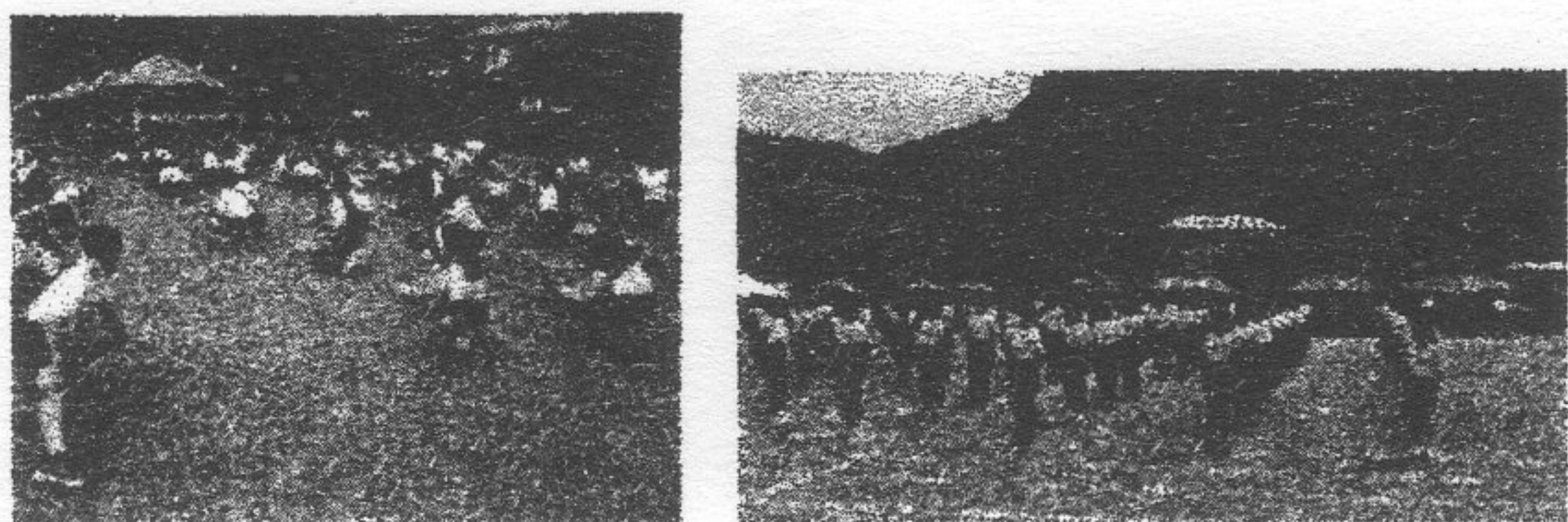
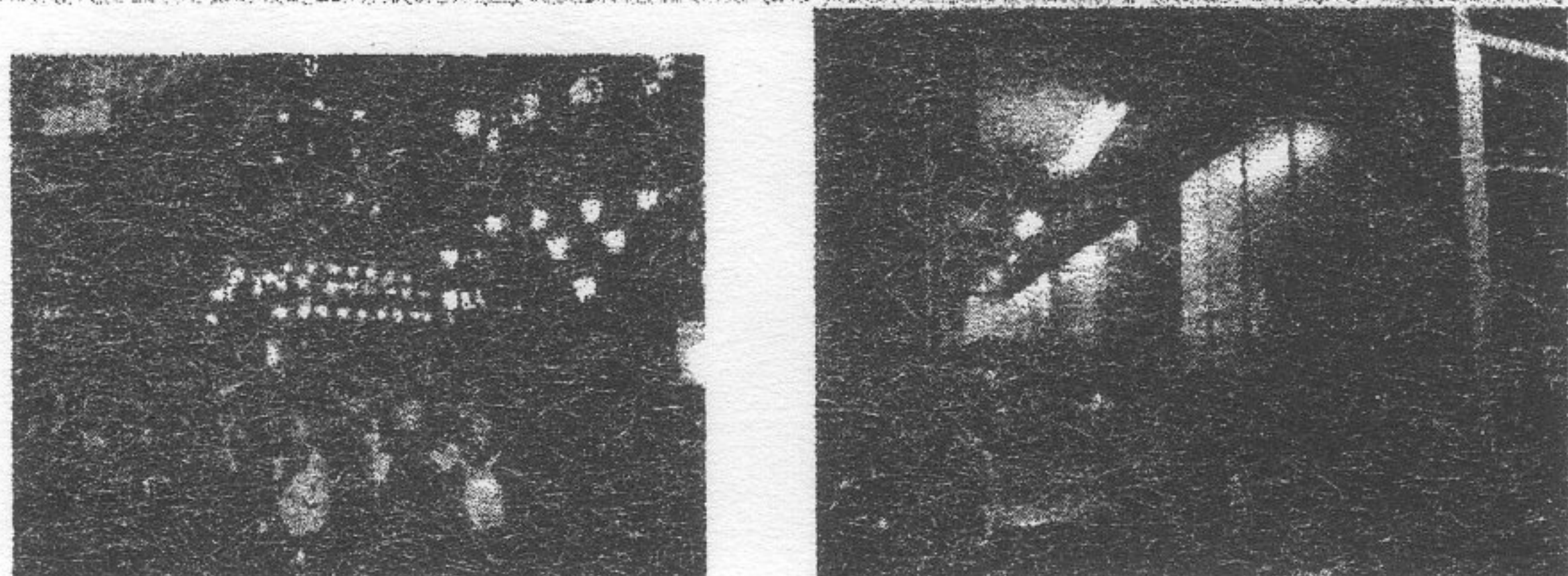


10/5 (木) 仲よし体育祭



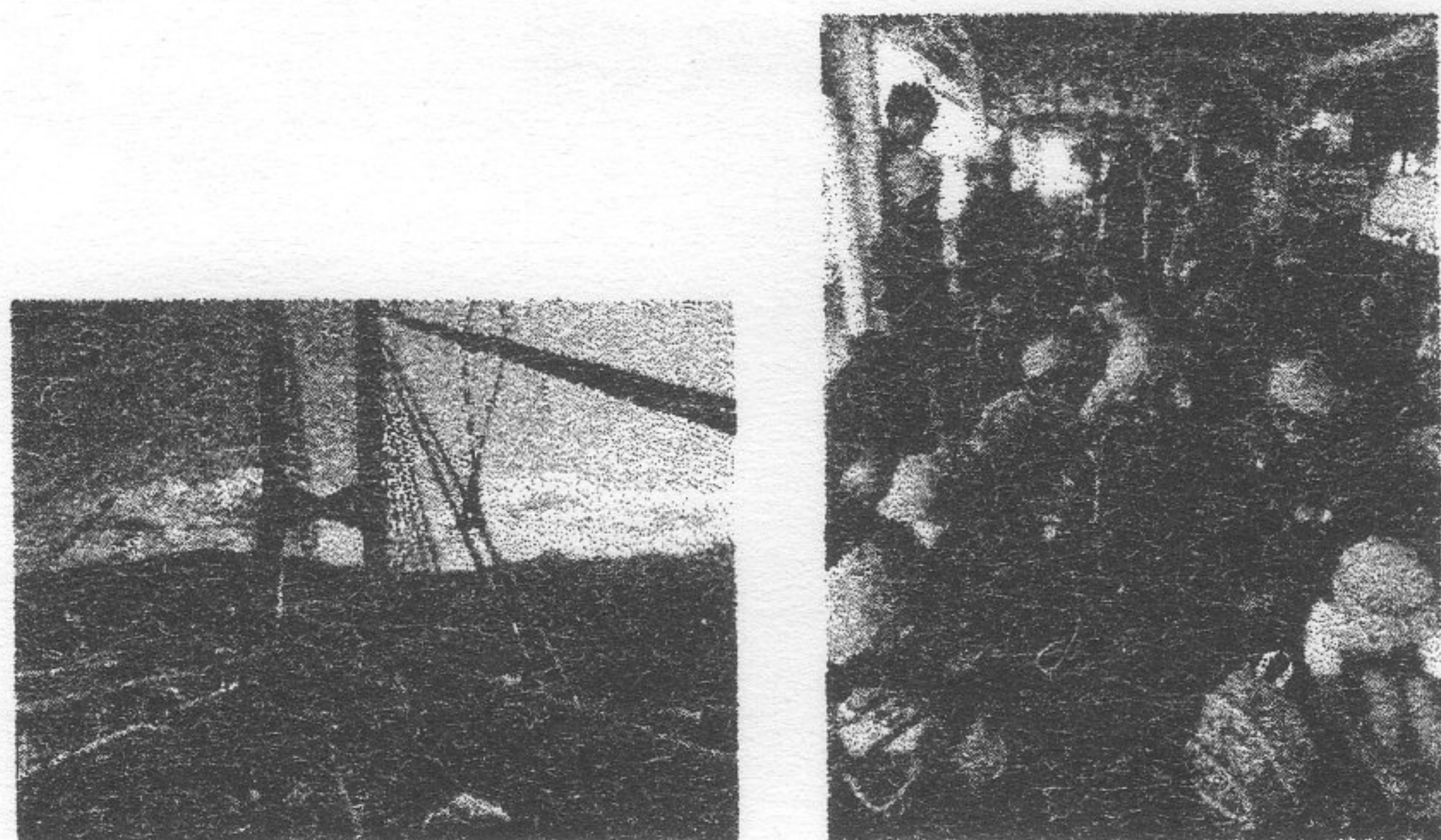
皆野スポーツ公園

10/6 (金) 2年生活科見学



秩父市立図書館方面

10/12 (木) 3年遠足



ミューズパーク方面

10/13 (金) 4年遠足



浦山ダム方面

10月はたくさんの行事があり
どの児童も大活躍しました！

● 11月の主な行事予定 ●

11/9は就学時健康診断日のため、給食を食べてから12:40に一斉下校となります。よろしくお願いします。

11/1	水	朝読書、修学旅行②、彩の国教育週間(～7日)
11/2	木	振替休業日(10/28学校公開日の振替)
11/3	金	文化の日
11/4	土	
11/5	日	
11/6	月	登校指導、5時間授業、朝学習(国)
11/7	火	校長講話、 2,3h 2年町探検
11/8	水	朝読書 読み聞かせ(高)
11/9	木	朝学習(算) 就学時健康診断日 12:40一斉下校
11/10	金	朝学習(算)、1年生活科見学(宝登山)、県小・中学校音楽会秩父地区大会(6年2組)
11/11	土	秩父PTA連合会ソフトバレーボール大会(秩父市文化体育センター)
11/12	日	
11/13	月	朝学習(国)、委員会⑦
11/14	火	県民の日
11/15	水	朝読書
11/16	木	朝学習(算)、1年生活科見学予備日
11/17	金	朝学習(算)、ロング集会
11/18	土	
11/19	日	
11/20	月	朝学習(国)、クラブ⑦
11/21	火	朝学習(算)、学びウィーク④(～11/29)
11/22	水	朝読書
11/23	木	勤労感謝の日
11/24	金	朝学習(算) 薬物乱用防止教室(5,6年)3～4時間目 人権教室(6年)6時間目
11/25	土	
11/26	日	
11/27	月	朝学習(国)、MPT、クラブ⑧
11/28	火	朝学習(算)
11/29	水	朝読書 非行防止教室
11/30	木	朝学習(算)

● お知らせ ●

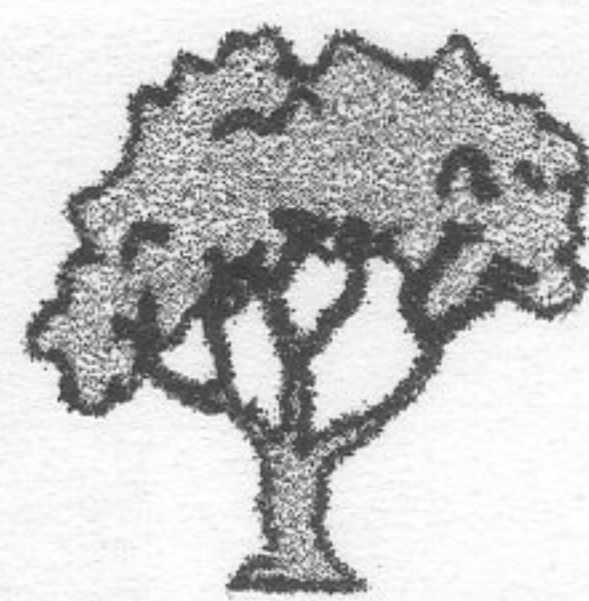
インフルエンザが各地で猛威を振るっています。学校でも換気・手洗いうがい等の対策をすすめています。ご家庭でも体調管理、感染防止対策等のご指導を、よろしくお願いいたします。

創立150周年 「えのきと共に150年 これからも笑顔の花さく 皆野小」



学校だより えのき

11月号



皆野町立皆野小学校 令和5年10月30日 発行



「見返りを求めない愛」 ～ 4年国語『ごんぎつね』から～

校長 坂本 勉

『ごんぎつね』などの代表作で知られる児童文学作家、新美南吉（にいみ なんきち、1913～43年）は、29歳で亡くなる短い生涯で童話や詩など珠玉の作品を残しました。生誕110年の今年、夏休みに久しぶりに愛知県の半田市にある『新美南吉記念館』を訪ねてきました。

4年生の国語の教科書に、『ごんぎつね』という物語教材があるのを皆さんご存知だと思います。皆さんも、小学校の時に読んだ記憶があるかと思います。

どうして「皆さんがご存知」と書いたかという、この教材は昭和31年に教科書に初掲載され、昭和55年以降は教科書会社全社に採用され、今日に至っているからです。今までに6千万人以上の方が、この『ごんぎつね』を小学校で学習したことになるそうです。

たくさんの絵本にもなっています。まさに『ごんぎつね』は国民的童話といっても過言ではありません。



それほどまでにこの作品が国語科の教材として支持され続けたのは、優れた構成力によるドラマチックな展開にほかなりません。一人ぼっちの「ごん」は、同じように母親を亡くして一人になった「兵十」に親近感をもちます。いたづらをした償いに、毎日、栗やマツタケを届けます。でも、いくら「ごん」が償いをして誠意を表しても、兵十は神様からの贈り物だと思い込みます。「ごん」の償いの気持ち（誠意）は一向に伝わりません。そして最後に、「ごん」は兵十に撃たれてしまいます。

しかし、南吉はなぜこんなに「悲しい結末」を選んだのでしょうか？ また、なぜこんなにも悲しい物語が国語の教材として採用され続けているのでしょうか？

その答えは、南吉が安城高等女学校の教え子に語った言葉の中にあります。

それは「世の中には、尽くしても、尽くしても理解してもらえない、ということがあるんだよ。」という言葉です。誠意は必ず通じると教えると、誠意が通じないことが生じたら相手を恨むようになるでしょう。この物語は「ごん」も「兵十」もどちらも悪くないのです。今の世の中、思い通りにならないと相手を恨む子がたくさんいます。そういう子にこそ読んでもらいたい作品なのです・・・と。

「見返りを求めない愛」で人と人とが関わり合うことは、われわれ大人の世界でも難しいことです。だからこそ、生まれて10年ほどの純粋な子どものうちに、このような愛の形があることを学び、自分の思い通りにならない「もどかしさ」や相手の気持ちを推し量る心の大切さを感じ取ってほしいものです。

読書の秋です。秋の夜長、子どもと一緒に幼い頃に戻って、『ごんぎつね』を改めて読んでみてはいかがでしょうか。

